



議会全員協議会(協議議題)

- ◆ 2月21日開催
- ・機構改革(案)
- ・遠別町国民健康保険診療所医師の採用
- ・救急看護待機手当の創設
- ・遠別中学校建設事業
- ・有限会社遠別町酪農振興公社の解散
- ・旭温泉設置条例の一部改正
- ・令和7年度主要事業

第1回定例会

3月10日から3月17日の8日間を会期として開催し、定期監査報告、令和7年度町政執行方針、教育行政執行方針、各会計予算案の概要について説明を受け、一般質問は白幡議員が行った。

専決処分(工事請負契約の変更)について報告を受け、固定資産評価審査委員会委員の選任、教育委員会委員の任命、教育委員会教育長の任命、条例の改正、令和6年度各会計補正予算について審議し、原案のとおり可決した。

また、令和7年度各会計予算

については、予算審査特別委員会に付託し、本会議において承認し、令和7年度一般会計補正予算を原案のとおり可決し、3月14日に閉会した。

行政報告

- ◆ 遠別町国民健康保険診療所常勤医師の採用
- ◆ 北吹雪の製造終了
- ◆ 有限会社遠別町酪農振興公社の解散
- ◆ 令和7年度北海道遠別農業高等学校入学者の出願状況

報告

- ◆ 令和6年度定期監査結果報告
- ◆ 専決処分の報告(工事請負契約の変更)

同意

- ◆ 固定資産評価審査委員会委員の選任
- ・ 國谷 えり子氏(本町3)の選任に同意した。
- ◆ 教育委員会委員の任命
- ・ 今井 彩佳氏(本町3)の任命に同意した。
- ◆ 教育委員会教育長の任命
- ・ 土井 寿彦氏(八雲町)の任

命に同意した。

審議事項

- ◆ 工事請負契約の変更(遠別中学校建設工事(建築主体工事))
- ◆ 遠別町職員の給与に関する条例の一部改正
- ◆ 遠別町課設置条例の一部改正
- ◆ 遠別町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正
- ◆ 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備
- ◆ 遠別町職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正
- ◆ 遠別町職員の特殊勤務手当支給条例の一部改正
- ◆ 遠別町新規就農者経営発展支援に関する条例の一部改正
- ◆ 旭温泉設置条例の一部改正
- ◆ 指定管理者の指定(道の駅えんべつ富士見)



主な補正予算

【令和6年度一般会計】

- ◆ 物価高騰対応重点支援金 462万円減
- ◆ 予防接種技術援助委託料 767万6千円減
- ◆ 豊かな森づくり推進事業補助金 215万6千円減
- ◆ 町道除排雪業務委託料 6,000万円増
- ◆ 基線1号橋補修工事 262万4千円減
- ◆ 紅雲線橋補修工事 107万6千円増
- ◆ 北2線橋補修工事 336万円増
- ◆ 新川橋補修工事 59万円減
- ◆ 遠別中学校建設工事 1億3,054万8千円減
- ◆ 遠別中学校建設工事委託料 438万9千円減
- ◆ 令和7年度一般会計】
- ◆ 学校給食配送業務委託料 142万4千円新規
- ◆ えん罪被害者を速やかに救済するために再審法改正を求める意見書

意見案

提出者 白井議員
賛成者 白幡議員、山下議員

◆ ガバメントクラウドの利用料を地方公共団体が負担することに対して財政支援を求める意見書

提出者 白井議員
賛成者 白幡議員、山本議員

意見案は3月14日の議会定例会で採択され、国の関係機関に送付した。

発議

◆ 遠別町議会の個人情報保護に関する条例の一部改正
◆ 議員派遣について

議会全員協議会(協議議題)

◆ 3月14日開催
・特別養護老人ホーム友愛苑の事業承継について

議会全員協議会(協議議題)

◆ 4月11日開催
・遠別町海洋変化対策資金利子及び保証料補給について

第2回臨時会

4月21日の1日間を会期として開催し、報告2件、条例改正1件、補正予算1件の議案が提案され、原案のとおり可決し閉会した。

報告

- ◆ 専決処分の承認(遠別町税条例の一部改正)
- ◆ 専決処分の承認(令和6年度遠別町一般会計補正予算(第11号))

審議事項

◆ 遠別町総合振興計画審議会条例の一部改正

主な補正予算

- 【一般会計】
- ◆ 事業承継斡旋仲介手数料 2,238万5千円新規
 - ◆ 海洋変化対策資金利子及び保証料補給費補助金 349万4千円新規

議会を傍聴してみませんか

詳しくは
テレビ電話でご確認ください。

次の定例会は **6月13日頃** の開催予定です。

議会を議場で傍聴された方には、
行政サービスポイント 200 ポイントが付与されます。

【お問い合わせ】

議会事務局

電話 7-2147 (直通)

メール gikai@town.embetsu.hokkaido.jp



町政を問う

第 1 回 定例会「一般質問」



問 特別養護老人ホーム友愛苑の事業継続問題について、令和5年8月に社会福祉法人湯らん福祉会より、近い将来事業から撤退する意向があるとの申出を受けてから昨日までの間、町から町民に向けた情報も乏しく、本町の社会福祉の観点から町内情報の積極的な発信が必要と考えるが、今後の見通しなど進捗状況を伺う。

答 友愛苑の事業継続について、町民の皆様には大変ご心配をおかけしていることにご心苦しく感じている。また、町政運営において、町民の皆様への積極的な情報発信は重要であると認識している。一方で、このたびの事業の承継については

契約・交渉ごとであるため、公表できない部分があることはご理解いただきたい。現時点でお伝えできる内容となるが、現在まで複数の事業者と交渉している中で、先日、町内有識者の会議に諮問したところ、「社会福祉法人による運営が望ましい」との答申をいただいた。この答申を踏まえ、社会福祉法人を中心に交渉を行っていくが、4月の事業承継は難しい状況にある。なお、社会福祉法人湯らん福祉会には事業承継までの間、友愛苑の運営について確約を得ているところである。引き続き、入所者、ご家族及び介護従事者の皆様が安心できるように、良質なサービス提供、従業員の継続雇用及び待遇の維持を念頭に置き、交渉を進めていきたいと考えている。今後、公表できる段階になれば速やかに町民の皆様にお知らせしていきたいと考えているので、ご理解いただきたい。

再質問
問 交渉にあたり、いつどのような形で何社と行っているといった状況など情報発信は可能と考えるが町長の見解は。また、4月の事業承継は難しいとの答弁だが具体的にいつ頃になるのか。諮問した有識者はどういうメンバー構成なのか併せて伺う。

答 諮問したのは介護保険事業計画策定委員会という既存の組織で、構成6名となっている。それに加え、国民健康保険の運営に関する協議会、これも既存の会でありメンバー9名となっている。この両委員会に諮問し、答申を得たところである。答申を受け、社会福祉法人を交渉先に絞り、交渉が進んでいる。今現在すでに3月であり4月の事業承継は難しいが、先方と話している中では8月の事業承継が可能であるというところを交渉している。まず情報を発信していきたいのが従事し

ていただいている介護職員の部分だが、先方も働いていただいている方を大切に考えていただいております。継続雇用はもちろん、待遇に関しても現状を維持したいと、さらに、事業承継にあたり「やり方が大きく変わってそこに対するアレルギー反応が多く、結構離職が出る」という話も伺っているので、これも念頭に最初から大きく変えずに徐々に経営改善をしていくような話を伺っている。選挙の間から残さなければいけない必要な施設ということは言い続けているが、当時は根拠がなくというか理念だけで申し上げていた部分があった。残さなければいけないと、そのために努力するのはお約束してはいたが、具体的などころが見えていない部分での話ではあった。現在4ヶ月経ち、ある程度形が見えてきたのかなと実感しているところである。具体的にこうといった答申も受けて話が進んでいるところなので、特に働いている

白幡議員 問 今後の医療、看護体制をどう充実させるのか？

國部町長 答 常勤医2名体制と共に、看護師の就労・住環境の充実を図る

方に関しては安心して働き続けていただけるかと考えている。

問

本町の診療所について、行政報告の中で常勤医師2名体制になるとの報告であり、所信表明では看護体制を含めた医療体制の充実を図ると話しておりましたが、町長が目指す今後の看護、医療体制とは具体的にどのように充実させていくのか。職員増を考えている場合はその受入れ環境も併せて伺う。

答

診療所については本年4月1日付で一井医師が着任となり、江橋医師と常勤医2名体制により診療業務を行う予定であり、主に内科などが中心の診療体制になる見込みである。現在、土日の出張医や医療振興財団からの出張医による一部外科外来や、旭川医大による小児科外来も行われており、今後も継続していく。将来的には月1〜2回程度の耳鼻咽喉科や眼科などの専門外来の開設も町民の意見を聞きながら模索して

いきたいと考えている。また、看護師の体制については、現在正職員が7名、会計年度職員が7名の計14名となっており、会計年度職員のうち5名が民間会社からの紹介による派遣看護師である。正職員の募集に関しては、北海道看護協会やハローワークにおいて随時募集をしているが、採用まで至っていない状況である。このため3ヶ月から1年程度の雇用期間により派遣看護師を採用し、看護師の不足を補っているが、この受入れ環境に関しては、就労環境や住環境の充実を図っていききたいと考えている。今後においても、町民の皆様への安定した診療体制の構築を目指していく。

再質問

問

今現在、正職員を随時募集しても採用に至らず、看護師不足に対応するため民間会社からの派遣看護師を採用しているとの答弁だが、今後においても現職員の退職などに伴い派遣看護師の増員も必要と思う。都市部から地方への派遣ということになると、本町での住

環境の問題を含め、本町の診療所で職場を選んでいただけるような施策も必要不可欠だと考えるが町長の考えは。

答

私も職員と面談している中で看護師とも面談しているが、住環境の部分で言われることは実際多くある。紹介会社から来ている看護師が多いが、行った先の評判、口コミの書き込み欄があるようで、住環境の点については不満だったと書かざるを得ないという話も聞いている。ちよつと前だと派遣がされる際に住むところがあるというのが一つの来る条件だったと思うが、最近住むところがあるだけではなく、住むところがきれいとか住みやすいといった条件にまで上がってきているように実感している。そこを今後どのような形が良いのか検討し、看護体制、医療体制の充実のために注力しなければいけないのではないかと考えている。

再々質問

問

医療体制や医療の充実を図るとすれば、やはり一定数の看護師を含め職員がいないと他の職員にも負担が多くなるかと予想される。本町の職員が快適に過ごせるよう住環境を整え、さらには本町の魅力の一つとして情報発信できないか伺う。

答

医師・看護師の住環境の部分だが、そこは先ほど申し上げているとおり、いちばん看護師の方から言われるのがそこであると考えている。あともう一つ労働環境に関してもやはり派遣看護師の方々からすると電子カルテがないという部分で仕事が煩雑というか、手間が他のところにも多くかかると伺っているので、電子カルテの導入も含めて検討している状況である。



令和7年度 遠別町各会計予算審査特別委員会

令和7年第1回議会定例会で

一般会計外6件の予算審査を遠別町各会計予算審査特別委員会に付託し、3月13日・14日の2日間で審議が行われた。委員長には、白井委員、副委員長には山下委員が選任され、提案のあった全ての予算は原案のとおり可決された。

主な質疑は次のとおり。

【一般会計】

― 総務費 ―

教職員住宅敷地借上料

問 今現在、教職員住宅としてどの程度使用しているか。

答 教職員住宅の分と職員住宅の分と2つあり、職員住宅は年額で15万5,000円ほどの借上料、教職員住宅分は81万円の借上料なる。面積については、教職員住宅は約1,000坪の敷地ということ、北浜の元の学校の先生方の住宅の部分の借り上げが主な内容となっている。

問 教職員住宅としての機能はどのようなになっているか。

答 北浜は古い住宅で、職員住宅としてはほぼ活用していない状況。昨年来から診療所の工事の関係者が入居し、今後も中学校の工事の関係者が入居する予定で、今後老朽化が進み、利活用がないという状況になれば解体を検討していく。

地域おこし協力隊事業

問 新規5名、報酬12か月分となっているが、その説明と活動内容を伺う。

答 今までホームページで募集していたがほとんど集まらない。全国的にそういう状況なので、しっかりと募集経費をかけて集めていきたい。正規の協力隊のほか、インターシップ、お試しという仕組みもあるので、延べで言うと、もっと多い人数を呼び入れてそこから定着につなげていく動きも必要と考えている。仕事内容の想定は、学力サポート、部活の指導、外国人のサポート、

情報発信、観光というところで、その他様々な業務をしてもらう中で、その方に特化した道をつくってもらい、様々な町内の不足しているリソースを補うという部分を考えている。

― 民生費 ―

高齢者バス・タクシー助成金

問 タクシー基本料金で距離によって手出ししなきゃならないという話をよく聞くが、なぜバス券が30枚でタクシー券が10枚なのか。また、バス券を途中でタクシー券に替えることも可能か。

答 バスについては、市街地から遠いということで、15回程度の往復と考えている。市街地域については、10回程度の社会参画、地域交流ということで考えている。1枚も使っていないければ年度途中の交換は可能。様々な議論があることは承知している中で、第7期総合計画作成の中で制度設計を検討していきたい。

― 歳入 ―

遠別町まちづくり応援寄附金

問 3月10日現在で、令和6年度収入額が約4,900万円弱。7年度の積算を1億円にした根拠は何か。

答 1億の根拠はなく、目標額と考えていただきたい。今年度のふるさと納税の納税額は前年より2割ほどプラスの結果になると思われる。今年度からヤマト運輸と取組みを始めて、数字を見てみると、10月、11月ぐらいからやと効果が現れてきたところなので、この伸びプラスこれからの取組みというところで目指したい額がまずは1億、ピークが1億4,000万ほどあったので、そこまでは戻したいが、まずは1億という目標を掲げさせていただいた。希望としてはここから増額補正したいというぐらゐの意気込みは持っているのでご理解いただきたい。

議会の主な動き（令和7年2月～令和7年4月）

2月	3月	4月
4日 市町村長と市町村議会議長との意見交換会（初山別村）	1日 遠別農業高等学校第72回卒業証書授与式	4日 第3回議会報発行特別委員会
17日 令和6年度留萌管内町村議会議長会臨時総会（羽幌町）	10～14日 第1回遠別町議会（定例会）	7日 令和7年度遠別小学校入学式 令和7年度遠別中学校入学式
21日 第3回議会全員協議会 第1回議会運営委員会	12日 遠別中学校第78回卒業証書授与式	8日 令和7年度北海道遠別農業高等学校入学式
	13～14日 令和7年度遠別町各会計予算審査特別委員会	11日 第5回議会全員協議会 第2師団長 大場陸将を囲む会（留萌市）
	14日 第4回議会全員協議会	21日 第2回遠別町議会（臨時会）
	20日 遠別小学校第124回卒業証書授与式	28日 第4回議会報発行特別委員会

議員出席状況 令和7年2月1日～令和7年4月30日

区分 議員名	定例会・臨時会						常任委員会等			特別委員会			合計			出席率 (%) ⑥/⑤							
	開催日数 ①	出席内容			出席日数 計 ②	欠席内容			総務産業 1	議会運営 3	全員協議会	議会報発行 2	予算審査 2	開催日数合計 ①+③ ⑤	出席日数合計 ②+④ ⑥		欠席日数 合計						
		全日出席	遅刻	早退		慶弔	病欠	その他										出席内容			欠席内容		
																		全日出席 ④	遅刻	早退	慶弔	病欠	その他
小森 嘉孝	3	3			3				6	6		6		9	9	0	100.0%						
橋本 初昭	3	3			3				6	6		6		9	9	0	100.0%						
大石 幸夫	3	3			3				6	6		6		9	9	0	100.0%						
白井 金治	3	3			3				8	8		8		11	11	0	100.0%						
山本 仁美	3	3			3				6	6		6		9	9	0	100.0%						
山下 悟	3	3			3				8	8		8		11	11	0	100.0%						
白幡 広喜	3	3			3				8	8		8		11	11	0	100.0%						

紙面の都合上、質問及び答弁の内容を議会報発行特別委員会の委員で要約し、掲載しております。本会議の詳細の内容は、会議録をホームページで公開しておりますのでそちらをご覧ください。

会議録ホームページ URL
<https://www.town.embetsu.hokkaido.jp/docs/3789.html?cat=/c60/c6120/>



あとがき（山下委員長）

新年度を迎え、地域に根ざした政策判断の重要性を改めて実感しております。近年、アメリカをはじめとする各国では「国民第一」を掲げた政治姿勢が注目されており、私たち地方議会においても、「町民の暮らしを最優先に考える」姿勢が、これまで以上に求められています。

そのような中で、議会の活動や審議の内容を町民の皆さまに正確かつ率直にお伝えすることが、信頼の基盤になると考えております。本広報紙が、皆さまにとって議会を身近に感じ、関心を深めていただく一助となれば幸いです。

今後とも、変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

発行：遠別町議会
 編集：議会報発行特別委員会
 委員長 山下 悟
 副委員長 白井 金治
 委員 白幡 広喜